

安芸灘諸島における地域資産評価に関する基礎的研究

呉高専（正員） 市坪 誠 山岡俊一 佐賀野 健 山口隆司

呉市 長原寛和 上東広海 山本雅之 日本ミクニヤ（正員） 掛 園恵

1. はじめに

平成16年度より、呉地域海洋環境産業創出研究会（委員長：上嶋英機）において、瀬戸内海の海洋資源を生かした新規産業創出の調査検討のために3つのワーキンググループ（WG）が組織され活動を行っている。本研究は、「環境資源診断・活用WG」における活動をまとめたものである。

2. 目的

広島県呉市の安芸灘諸島（下蒲刈島・蒲刈島・豊島・大崎下島）は、古くから瀬戸内海の要衝であり、レクリエーション施設としても人工海浜や宿泊施設が整備されている。しかし、他の島嶼部と同様に少子高齢化や人口流出によって、レクリエーション施設などの利用減はもとより既存産業の衰退が顕著となっている現状にある。安芸灘諸島の豊かな自然環境や歴史文化を一体的に見つめ直し、地元住民を含む幅広い関係者とともにその保全策や活用策を検討し、新たな農水産業、観光業などを創出する必要がある。

そこで本研究では、安芸灘諸島における産業創出の基礎的資料を得るために、自然環境（干潟、藻場、生物など）や社会環境（歴史、文化、水産業、観光、環境学習など）等の地域資産評価について検討を行った。

3. 活動概要

3.1 モデルフィールド

モデルフィールドは、環境資源（水産資源・歴史的資源）が豊富に点在し、少子高齢化、人口流出等の瀬戸内海島嶼部の典型的な課題を持つ広島県呉市の安芸灘諸島である。

3.2 活動フローおよび活動内容

本研究のフローを図-1に示した。

①現状分析

既往知見の収集・ヒヤリング・現地調査を行い、安芸灘諸島および周辺海域の環境ポテンシャル（干潟・藻場・海生生物など）や歴史・文化ポテンシャルの把握を行った。

②ベンチマーキング・スタディ

効果的なWG活動を行うために国内外の先進事例調査を行った。具体的には、インターネットや他地域のイベントに参加し情報を収集した。また、モデルフィールドである安芸灘諸島の住民リーダーの抽出を行った。

③地域住民による地域資源理解

把握した地域資源を、地域住民自らが理解するため、住民参加型のイベントを開催した。平成16年度は、地元中学校と連携した環境学習として“海の生物観察会”を企画・実施した。環境学習を通して、地域の自然ポテンシャルに触れる機会を創出した。

④地域住民の要望分析

地域住民の意識調査を実施し、地域住民の要望を把握した。平成16年度は、地域学習の一環として、“地域の魅力”について自由解答記述式によるアンケート調査を実施した。

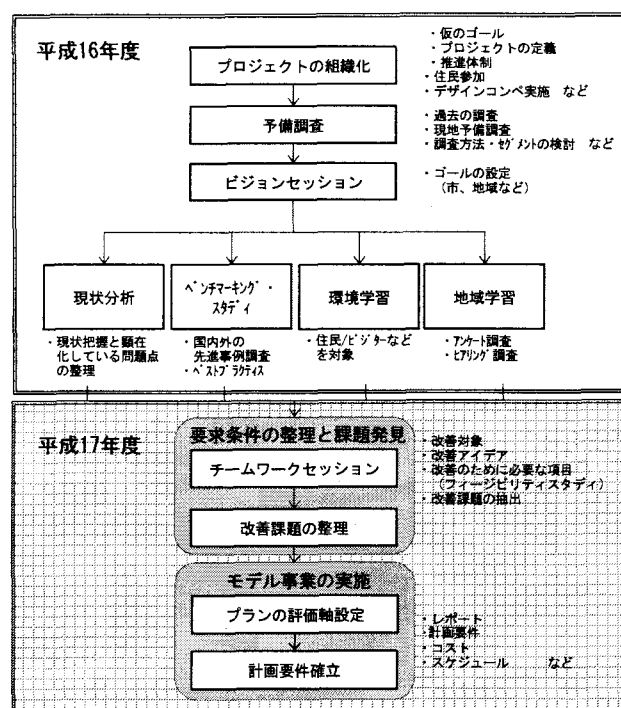


図-1 プロジェクトフロー

4. 活動成果

4. 1 地域資源診断マップ

既存資料を用いて“地域資源診断マップ”を作成した（図-2、3）。従来、これらは行政区域（4市町）ごとに整理されていたものを安芸灘諸島全体として取りまとめたものであり、各種施設（公民館、郵便局、観光地、宿泊等）、藻場・干潟、イベント、釣り場などの位置や個数、時期などを定量的に把握した後に、定性的に表したものである。その結果、諸島全体の地域情報を包括的に提供できることとなった。



図-2 地域資源診断マップ（文化・歴史ポテンシャル）

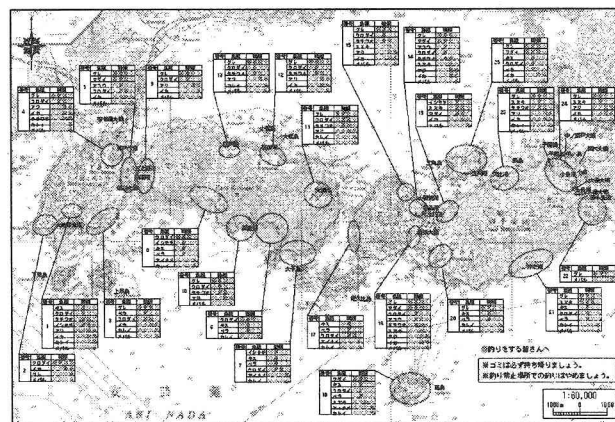


図-3 地域資源診断マップ（釣り場マップ）

4. 2 海の生物観察会

住民が自らの地域資源を再確認することを目的に、豊中学校と連携して環境学習“海の生物観察会”を実施した。その観察結果を“海の生物観察下敷き”にまとめた（図-4）。

教育機関との連携による環境学習の開催は地元認知の上から参加者からも好評であり、平成17年度以降の活動に向けた大きな成果となった。

5. 今後の展望

平成16年度の活動を通して、地元住民の意見・要望、地域資源診断マップ、環境学習の実施など、平成17年度に繋がる成果を得ることができた。

これらの成果を基に、平成17年度はWSを拡大して地域住民のみならず、呉市、青年会議所、地元企業とともに、地域からの要求条件の整理および課題発見を行い、課題解決のための糸口となる事業を実施する予定である。

平成17年度のプロジェクト・スキームを図-5に示した。これにより、一連の活動を通じて得られた知見を住民とともにとりまとめ、既存ハード施設と地域資源の有効活用による地域活性化の具体策を提言しその一つをモデル事業として実施する予定である。その一例として、国、市、地域住民、地元企業とともに、環境学習・観光業・水産業とが連携した産業支援事業実施を検討している。

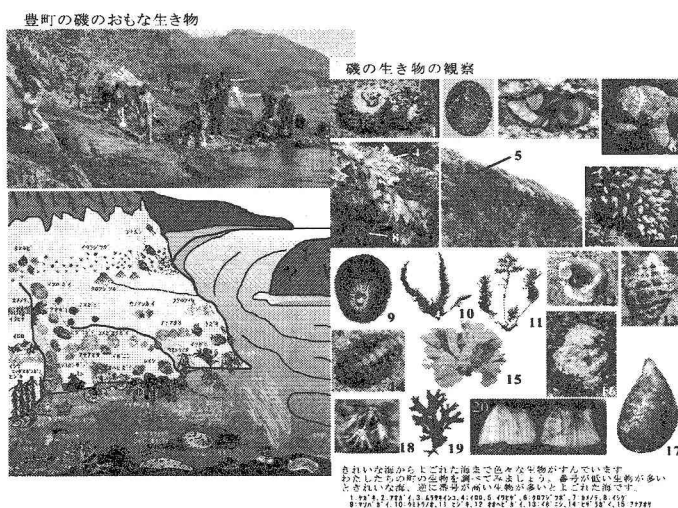


図-4 海の生物観察下敷き 豊中学校版

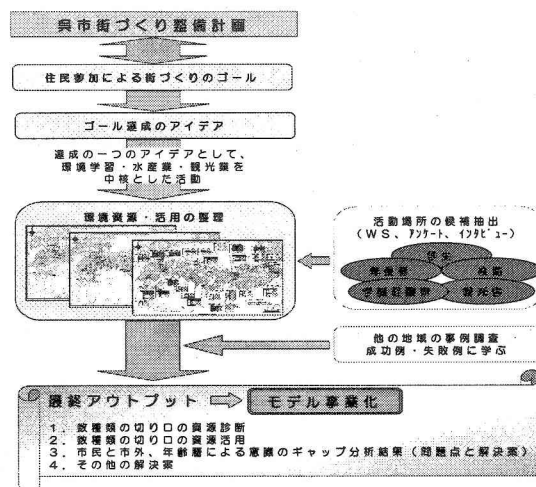


図-5 プロジェクト・スキーム